



後 援 会 通 信 NO. 6

参加型後援会を目指して

湘南学園後援会 会長 田辺 真理

湘南学園後援会は平成 20 年設立以来、活動 7 年目となります。

例年、PTA バザーへの参加、学園行事への参加、放課後 NPO のお手伝い、交換留学生のホームステイ、チーム湘南学園として等、様々な協力・支援を行っており、今年度3月 PTA 主催のヤングアメリカンズ公演も協賛し、協賛金として 50,000 円を寄付させていただきます。

一昨年の 80 周年記念行事ではチーム湘南学園(学校法人、PTA、同窓会、後援会)の一員として実行委員会各委員会に所属し様々な企画・運営に携わり、当日はグルメブース、寄贈品販売、チャリティコンサート、キルト展示を担当しました。

今後も会員相互の交流を深め、学園の子どもたちの幸せのために、後援会らしいお手伝いをさせていただきますと思っています。

卒業後もアットホームな後援会で親の絆を深めましょう



学園長 仲本 正夫

後援会は PTA、同窓会とともに湘南学園を支える大きな役割を果たしています。重要な場面では学園をよく知っている後援会のご意見は大変貴重なものであり、また、80周年行事では寄贈品販売などで2つの記念コンサートを財政的にバックアップし大活躍されました。また、現在はブラジルからの留学生も積極的に受け入れていただいております。お子様が湘南学園を卒業してからも、保護者の皆様には、アットホームな後援会で、さらに絆を深めていただきたいと思います。



交換留学生ホームステイのお手伝い



後援会発足時より、姉妹校ノックス校生徒さんの活動・ホームステイお手伝いをしております。今年度、藤沢ロータリークラブ交換留学生の募集にて選考された湘南学園高校 1 年生の水木さんがこの 9 月からブラジルへ 1 年間留学されており、その交換留学生としてブラジルからナターリアさんが湘南学園にて現在学校生活を送っていらっしゃいます。後援会会員 2 家庭がホストファミリーとしてナターリアさんをお迎えし、日本での生活が楽しく有意義であるようお手伝いさせていただきます。ナターリアさんの滞在記は、ホストファミリーを務めた森山さんの記事(ページ 2 を参照)をご覧ください。

第 5 回 総会のご報告

平成 26 年 4 月 12 日(土) 湘南学園後援会第 5 回総会及び講演会がカフェテリアにて開催されました。詳細に関しては湘南学園ホームページ内「湘南学園後援会」をご覧ください。

<http://www.shogak.ac.jp>

「みるみる発声が変わり参加者もびっくり！」

湘南学園カフェテリアにおいて、発声表現研究家の楠瀬誠志郎先生と、先生が主催されるヴォイストレーニングレッスンスタジオ Breavo - para のインストラクター澤田龍彦先生をお迎えし、講演会を開催しました。演題である「響きで育む～今日のおやすみと明日のおはように愛情と感謝を込めて～」の通り、先生の心のこもった指導に引き込まれているうちに、あっという間に 1 時間 30 分の予定時間が過ぎてい



ました。自分自身の本当の声を出すためには、身体のリラックスから入る事が必要という、先生オリジナルの理論に基づいたペアで行う身体のケアなどを体験し、更に実際に声を出してみることによって、短時間に自分の声が変わったことに参加者から感嘆の声が上がりました。



平成26年10月5日(日) 台風の予報を受けてバザー会場は小学校ホールへと変更になり、寄贈品(80周年行事)、手作りお菓子などを割り当てられたスペース一杯に展示して、販売に精を出しました。

お陰様で73,371円もの収益を上げることが出来、全額PTAに寄付しました。特にパッチワーク・刺繍小物などの手作り品が人気で、これからも皆様方のご協力をぜひお願いしたいと存じます。



(手作り品はPTA・同窓会・後援会 会員の作品です)



留学生のホストファミリーを体験して

森山 美佳



(平成26年8月まで後援会会員。同年9月よりPTA会員として活動)

ブラジルからの留学生、ナターリアさんのホストファミリーをお引き受けしました。過去、何度か留学生をお預かりしたことがありますが、今回は長期間なうえ、初めての女の子。正直不安いっぱいでのスタートでした。けれども、明るく人懐っこい彼女の性格のおかげで、そんな不安もすぐに解消。我が家は男の子2人なので、「ママ、ママ」と慕ってくれるナターリアに、つかの間「娘の母親」の気分を味わわせてもらうこととなりました。ナターリアが我が家で過ごした期間は約6週間。始めの頃は、日本語が分からず意思の疎通にやきもきしていた様子も見受けられました。ですが「今は私が母親代わり」と遠慮なく接した結果、国や習慣の違いなど気にならない、人と人の絆を感じることで、私にとって素晴らしい体験となりました。



最後に、この素晴らしい体験の機会を与えてくださった関係者の皆さまに、心より感謝申し上げます。

Kokoro 赴くままに NO. 5



学園創立80周年を迎えて

近藤正隆

昨年、後援会総会がカフェテリアであり、在職していた頃の教員仲間と楽しい時間が持てた。その折、若い先生たちを紹介された。その多さに驚き、新施設ができたことから学園は変わりつつあると思った。

卒業生の安斉さんより「ESD¹⁾について存じているか」と電話があった。不勉強で「知りません。在職していた頃には聞かなかった」と返事をした。すぐに記念誌で目にしたことに気付いた。

改めて記念誌を見るとESDについて吉川先生が書いてあった。2013年に講師を招き研究を始めた。特別教育活動が20年の実践を経て総合学習となったが、その方法としてESDが取り上げたのではないかと理解した。

新しい取り組みは始まったばかりであろう。これから実践と検証がくり返されて、学園教育は前進していくのだろう。中でもカフェテリアで会った若い先生たちが新しい施設で総合学習や教科教育を推進していくことだろう。

1) ESDとは《education for sustainable development》持続可能な開発を促進するため、地球的な視野をもつ市民を育成することを目的とする教育のこと。

* 近藤正隆 先生プロフィール：湘南学園に35年間勤務。学園長代行、中高校長を務められた。現 後援会役員。